

相談室便り



2009.12-2010.3 合併号

スタッフ紹介 ～上田琢哉先生～

～ 2009年4月より、上田琢哉嘱託講師(臨床心理士)をお迎えしました ～
はじめまして。4月から相談室スタッフになりました上田です。

僕は人のお話を聞くのが好きです。これはカウンセリングとは関係なく、もったきわめて広い意味で、いろいろな人と会って話を聞くのが楽しいということです。だからというわけではないのですが、初めて会った人でも思いもかけない興味深い話をしてくれたりすることがあり、日々驚くと同時にとても愉快的な体験をしています。

僕はわりと何でも単純に感心しちゃうところがあって、それはたとえば「よく知ってるなあー」とか「面白い発想するなあー」ということですが、それで相手も面白がって話してくれているのじゃないかなと思います。そういうのって、あまりものを知らないことの長所なのかもしれません。だって、何でも知っていたら、聞いても感心できないですものね。

そういうふうに考えて、最近は自分の無知をなぐさめることにしています(笑)。
これからもどうぞ、よろしくお願いします。

2009年 相談室活動報告

東洋英和こころの相談室 2009年1月～12月間での活動状況について、ご報告いたします。

【インテークについて】

年齢(才)	男性	女性	合計
0～5	0	1	1
6～12	5	2	7
13～18	0	5	5
19～25	1	6	7
26～39	14	14	28
40～59	2	20	22
60～	0	4	4
合計(件)	22	52	74

2009年1月～12月までの1年間に83件のインテーク(初回面接)を行いました(表参照)。

年齢層ごとの分布については、例年とほぼ同じ傾向が続いています。

前年と比較すると、インテーク件数は約1割減でしたが、継続面接の相談回数は増加しています(次頁表参照)。

【面接回数について】

年齢（才）	面接回数
0～5	15
6～12	200
13～18	134
19～25	127
26～39	377
40～59	635
60～	14
合計(回)	1,502

面接実施回数は、合計 1,502 回で（表参照）、前年と比べ、約 1 割増加しました。前年、前々年に引き続き、継続面接の相談回数は増加しています。

援助の形態としては、約 7 割が心理面接（箱庭療法・夢分析を含む）、約 1 割がプレイセラピーとなっています。

必要に応じてコンサルテーションを行ったものが約 1 割あります。この他、他機関からの依頼によるアセスメントも約 1 割あります。

【相談内容】

領域	件数
医療領域に関する問題	63
教育領域に関する問題	40
人生の悩みに関する問題	33
福祉領域に関する問題	8
司法領域に関する問題	6
産業領域に関する問題	6
その他	9
合計（件）	165

領域別の分類においては、例年通り医療領域に関する問題が多く約 4 割にのぼりますが、教育領域に関する問題、人生の悩みに関する問題もそれぞれ 2 割を占めています。

<領域内容>

医療領域：主に医療に関連している問題

教育領域：主に学校における適応と関連している問題

福祉領域：子育てに関する問題や家庭の問題

人生の悩み：ライフサイクルの各テーマに関連した悩み

産業領域：主に職場における適応と関連している問題

その他：上記のいずれにも該当しない問題

臨床心理士資格認定試験が実施されました

2009 年 10 月、11 月に財団法人日本臨床心理士資格認定協会主催の臨床心理士資格試験が行われました。本学からは昨年修了した臨床心理学領域修了生らが受験し、14 名が合格しました。

本学の合格率は 78.5%で、全国平均の 62.3%を上回る結果となりました。

なお、一次試験（筆記試験）を通過した者の全てが、二次試験（面接試験）に合格しました。

発行 東洋英和こころの相談室 Tel 03-3583-7463

開室時間 月～金曜日（木曜を除く） 午後 2 時～午後 8 時

木曜日 午後 1 時～午後 8 時

土曜日 午前 9 時～午後 6 時

休 室 日曜日・祝日

URL：<http://www.toyoeiwa.ac.jp/daigaku/kokoro/kokoro.html>